市政を問う　一般質問

第３回定例会において、市政全般を問う一般質問を行いました。質問内容は左記の一覧表のとおりです。質問項目の一部を本文に掲載しています。掲載以外の質問は、ＹｏｕＴｕｂｅで動画をご覧いただけます。

質問者	質問内容
石原　幸雄　議員	①ゴミに係わる問題について ②企業誘致の手法について ③うしタクについて ④シャトーの入園料の徴収について ⑤学校教科書のデジタル化に伴うデメリットの抑制策について
甲斐　徳之助　議員	①市内公共施設（公園）のトイレ環境について ②基金について ③東日本大震災後の公立学校の除染作業を行ったあとのフレコンバックについて
藤田　尚美　議員	①子どもの権利条約について ②予防接種施策の充実 ③外国籍住民の支援 ④小中学校の特別支援学級の体制について
塚原　正彦　議員	学びの力で、20 万人未来圏をつくることについて
鈴木　勝利　議員	①火災被災者支援について ②縦割り行政の改善について
柳井　哲也　議員	①姉妹都市について ②牛久市の宝物の観光開発と新たな発掘について
伊藤　知子　議員	①切れ目のない発達支援体制の構築について ②災害時における人的受援体制の強化と防災教育について
山本　伸子　議員	①公的空間における樹木の維持管理 ②持続可能な水泳授業に向けて
池辺　己実夫　議員	①令和７年度決算に見る市長公約の進捗状況について
髙嶋　基樹　議員	①新規創業者支援と空き家活用連携事業について ②旧飯島家住宅の進捗について ③ふるさと納税の状況について ④運動公園及び文化ホールの管理運営について
水梨　伸晃　議員	①中学生におけるクールビズ（熱中症対策）について ②放課後児童クラブの利用定員と受け入れ体制の確保について ③生涯を通した歯の健康づくり（歯科予防）の推進について
黒木　のぶ子　議員	①児童クラブについて ②働き続けられるための保育環境について ③投票率をあげることについて
伊藤　裕一　議員	①防災について
杉森　弘之　議員	①太陽光発電設備の適正な設置及び管理について ②会計年度任用職員の処遇改善について
須藤　京子　議員	①令和７年度決算の総括とまちづくりについて
大森　和夫　議員	①買い物・行政サービス支援について ②災害対策について ③データセンターについて
遠藤　憲子　議員	①公共交通政策について ②災害時の避難情報発信と、第二避難所の備蓄品の状況、避難所運営について ③公共施設の管理と今後について

市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

ゴミ屋敷に係わる条例は

石原 幸雄 議員



（答弁）前向きに考えている

質問 私の所属する環境建設常任委員会では、ゴミ屋敷に係わる問題を所管事項として取り上げ、本年7月、本件に係わる条例の先進地視察を実施したが、その際、執行部の職員も同行した。これを踏まえ、本市はゴミ屋敷に係わる条例制定をどの様に考えているのか。

答弁（市長）前向きに考えている。制定時期は断定できないが、できる限り早期にと考えている。

ゴミ袋の価格の現状維持について

質問 本市を含む県南7市町村はゴミ処理の広域化を目指しているが、市民の関心事は、ゴミ袋の現行価格が将来的にも維持されるのか否かである。故にゴミ袋の価格の現状維持を新たなゴミ処理の広域組合に働き掛けるべきと考えるがどうか。

答弁（環境経済部長）ゴミ処理広域化に伴う新たなゴミ処理施設の設置に係わる国の補助金の受託条件として、ゴミの有料化は不可避であり、その意味で、ゴミ袋の価格の現状維持は困難と考える。

うしタクについて

質問 東部地域住民は、阿見町の総合病院へのうしタクでの送迎を強く望んでいるが、その対処方法をどの様に考えているのか。又、東部地域では、うしタクの登録者数に対する利用率が他地域に比べて低い。故にその向上策として、地域専用の車両の増車をすべきと考えるがどうか。

答弁（経営企画部長）阿見町の総合病院への送迎を行政課題と捉え、粘り強く交渉を続ける。又、地域専用に限定せず、増車を検討する。



牛久市の指定ゴミ袋

ごみ処理場の必要経費に※特定目的基金を積む考えは

甲斐 徳之助 議員



（答弁）※公共施設等総合管理基金が現実的な選択肢の一つ

質問 今後想定している大規模な公共施設の事業は。

答弁（経営企画部長）下根中の長寿命化、中央生涯学習センターの改修、公立学校の体育館の空調工事、道路・下水道のインフラ整備、広域的なものは牛久消防署の建替とごみ処理場の整備など。

質問 今後のごみ処理場の広域化に向けて、これまで議論した特定目的基金を積む考えはないか。

答弁（市長）各基金メリットデメリットがある公共施設等総合管理基金の活用が現実的な選択肢の一つ。

質問 デメリットとは。

答弁 条例改正が必要。

質問 条例改正を行うか。

答弁（副市長）現時点ではお答えできない。

市内公園のトイレ環境は

質問 市内公園は146か所、トイレ設置公園は14か所あり設置基準はないとのことだが、市民より不衛生で、特に女性用が使いづらいとの指摘がある。災害時も利用されるが、どう改善するか。

答弁（建設部次長）和式から洋式化を進めている。週2回職員が清掃をしている。

フレコンバックのその後

質問 市内公立学校に埋めてある除染土壌のフレコンバックの安全確認は。児童生徒・教員・保護者の情報共有をすべきでは。

答弁（環境経済部部長）基準値の安全確認は年1度、目視確認。埋設箇所に囲いを設け、埋設場所とわかるようにし、除去土壌については学校と情報共有を行う。

※特定目的基金とは、それぞれの条例に基づき、特定の目的のために資金を積み立てる基金のこと。

※公共施設等総合管理基金とは、公共施設の保全や更新などに備え積み立てる特定目的基金のこと。



牛久クリーンセンター

市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

特別支援学級の体制整備の充実



藤田 尚美 議員

（答弁）合理的配慮の実施に努め支援体制を強化する

質問 **教員配置について伺う。**

答弁（教育長）法律で1学級あたりの児童生徒の基準は障害種ごとに1学級8人と示されており、この基準に基づき、1学級に教員1人を配置している。

質問 **教員の専門性について**

答弁 校内研修の改善と充実を図り、学校全体の専門性向上を目指すとともに、経験の浅い教員の支援を実施している。校内教育支援委員会の機能向上を図り、ケース会議を充実させ通常学級における合理的配慮を見直し、インクルーシブ教育の充実に努めているところである。

質問 **関係機関との連携は。**

答弁 就学前から小学校への円滑な支援が実施できるよう関係機関と連携して様々な取組を実施している。今後、計画されている5歳児健診において連携を強化し要支援児の早期発見、早期支援につなげていく。

外国籍住民の支援について

質問 **災害時の支援は。**

答弁（市民部長）ホームページは自動翻訳機能により100種類以上の言語に対応しており、災害時にはホームページにより迅速な情報提供や避難指示などを確認していただく。外国人向けに避難所を案内する外国語表記のチラシを配布。

質問 **今後の多文化共生の推進に向けて今後の取組は。**

答弁（市長）外国人を支援される側として捉えるだけではなく地域を作る市民の一員として捉える視点を大切に日本人も外国人も互いの違いを認め合い、それぞれが持つ力を発揮できる地域社会を目指し実現する。



20万人の学びの圏域をつくる

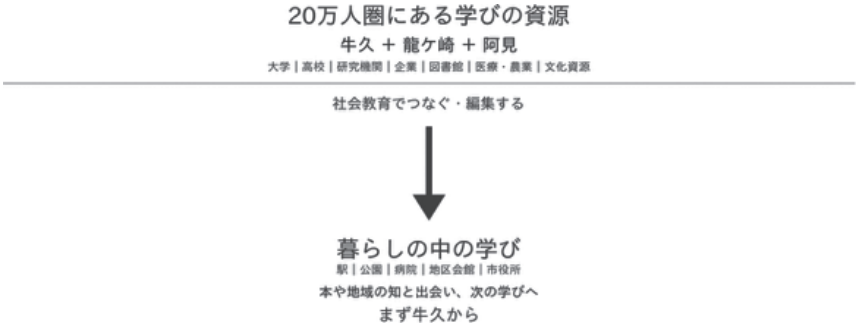


塚原 正彦 議員

（答弁）事業を横断的に捉え直し、大学等との連携も研究

質問 **牛久・龍ケ崎・阿見には、3大学、9高校、研究機関、企業、図書館、日本遺産などの学びの資源がある。これらを結べば、20万人規模の学びの圏域が生まれる。単発の講座で終わらせず、大学や研究機関の知見につなぎ、学んだ成果を地域の活動や仕事へ返す仕組みが必要である。あわせて、駅、公園、病院、地区会館、市役所庁舎など、暮らしの身近な場所に小さな図書館や本棚を置き、待ち時間や日常のすきまを、本と出会い、考える時間にひらきたい。大学と連携して学びのプログラムを開発し、成果を評価して学びの履歴として残す実証実験もあわせて提案するが、市の考えを伺う。**

答弁（教育部長）現在の講座には、個別・単発の学習機会にとどまるものがあり、継続的な学びにつなげることが課題と認識する。今後は、社会教育、健康、文化、地域学習などの事業を横断的に捉え直し、分野を超えて継続的な学びにつながる生涯学習講座のあり方を調査研究する。また、大学等が有する専門的な知見や人材を地域の学習機会にいかすことは有効であり、大学等との連携の可能性についても研究していく。



駅、公園、病院、市役所。暮らしの身近な場所に小さな図書館を置く。
待ち時間が、本と出会い、考える時間に変わる。20万人の学びの圏域は、そこから始まる。

市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

火災被災者に対する市の支援は

鈴木 勝利 議員



（答弁）関係部署が一体で支える体制を整えている

質問 相談窓口は。

答弁 （市民部次長）総合的な窓口は防災課で、生活再建への支援や相談は社会福祉課中心で対応している。

質問 避難場所の提供は。

答弁 避難先確保が困難な場合、市営住宅の「政策空き家」を提供する。

質問 できるだけ早く手続した方がよいものは。

答弁 消防署への罹災証明書申請とライフライン停止連絡を最優先で進めてもらう。



質問 支援や手続きをまとめた小冊子発行やホームページ発信をしてはどうか。

答弁 （保健福祉部長）現在被災された方に渡している通知書をハンドブック作成変更も含め充実を図る。また市ホームページでの情報発信を実施していきたい。

「縦割り行政」の改善を

質問 組織横断のプロジェクトチームの設置は。

答弁 （市長）縦割りを排した庁内横断的な組織の設置について指示し、「市制施行40周年プロジェクトチーム」及び「窓口待ち時間ゼロプロジェクトチーム」を立ち上げ取り組んできた。

質問 情報共有のデジタル化は。

答弁 （経営企画部長）デジタルツールやファイルサーバ上の共有フォルダを活用し、情報共有の円滑化や業務の効率化を図っている。

質問 「教福連携」は。

答弁 （保健福祉部長）要保護児童対策地域協議会は、教育や児童福祉、障がい福祉等のこどもに関わる関係機関が構成員になって、支援が必要なこどもやその家庭に適切な支援を行うことを目的に設置している。

ボルドー市との姉妹都市は可能か

柳井 哲也 議員



（答弁）ワイン発祥のテラヴィ市に注力中で今はない

質問 伝兵衛が仏政府より極めて厳格な法的条件のあるシャトーの称号を頂いていること、仏の国宝とも云うべきアデレード公妃（ルイ十五世の母親）の肖像画を譲り受けていること等の経緯を解明できないのは東京空襲で貴重な資料が全て焼失してしまったからと言われている。姉妹都市の提携によって調査が進めば、伝兵衛の評価と牛久シャトーの価値が百倍にもなると考えるがどうか。

答弁 （市民部長）ボルドー市は世界最高峰のワイン生産地であり、その趣旨に共感できるが、本市は先日世界ワインの発祥の地テラヴィ市と姉妹都市協定を結んだばかりなので、先ずはその交流推進に注力していく。

武家住宅の保存と活用

質問 明治天皇は旧飯島家住宅に宿泊されたとき正面北側の式台玄関を使って出入りされた。殿様や奉行所から旗本等の武士が駕籠に乗って来られた時に使った式台玄関や付け書院等の座敷飾りを備えた武家住宅が市内各所に二十軒程残っている。殿様が襲われそうになったとき即隠れられる小部屋がある優れものや、馬屋を持ったものもある。市内には五つの城址があり戦国時代からそれを支える城下町で賑わっていたのだ。武士等ストーリーある歴史資源の活用による観光開発に最適と考えるがどうか。

答弁 （環境経済部次長）近年失われつつある現状に鑑みその保存は喫緊の課題であるが、私有財産である上、その保存活用には財政的負担など解決すべき課題もあり慎重に検討していく。



旧飯島家住宅の式台玄関

市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。



伊藤 知子 議員

切れ目のない発達支援システムに

（答弁）令和９年度から５歳児健診を導入する

質問 発達の特性を早期に把握する、5歳児健診を実施しては。

答弁（保健福祉部こども局長）令和9年度から実施する方向で準備している。現在の5歳児成長発達確認を活かし、関係機関と実施体制を整えていく。

質問 就学後も切れ目なく支援をつなぐ仕組みは。

答弁（教育委員会次長）個別の教育支援計画などにより、就学前から高校進学まで情報を引き継いでいる。一方、高校や就労先での支援状況の把握が課題であり、関係機関等と連携し、支援の充実を検討していく。



あらゆる災害に備えるために

質問 災害時には職員自身が被災することも想定される。外部からの応援を円滑に受け入れる人的受援体制について、市の取り組みは。

答弁（市長）昨年度から受援マニュアルを作成し、現在、最終調整を進めている。避難所運営や物資輸送、被害調査、災害廃棄物処理など、応援が必要となる業務を整理し、早期の計画策定を進める。

質問 地震による通電火災を防ぐ感震ブレーカーについて、補助制度の導入は。

答弁（市民部次長）感震ブレーカーの有効性は認識している。県内自治体の取り組みも参考にしながら、補助事業の実施を検討していく。

質問 災害の教訓から、子どもたちが自分の命を守る力をつけるための防災教育は。

答弁（教育委員会次長）学校では各教科や避難訓練などを通して防災教育を実施。今後も多様な災害を想定した学習や訓練を行い、児童生徒が自ら判断し、行動できる力を育成していく。



山本 伸子 議員

樹木の維持管理を中長期的な視点で

（答弁）樹木点検や専門的な調査で最適な管理を目指す

質問 市民に身近な街路樹や公園、学校の樹木の老齢化による課題と維持管理はどのようか。

答弁（建設部長・教育委員会次長）樹木の巨木化や自然災害による倒木、病害虫の発生などがあり、月1回の巡回点検をしている。維持管理費は年間1億2000万円となっている。

学校でも日頃の学習や活動において事故が発生することのないよう、日常点検を実施している。

質問 街路樹については国からも樹木点検を強化し、倒木や落枝による事故未然防止を図ることが言われているが。

答弁（建設部長）国のガイドラインを踏まえ、点検体制の強化と専門的な調査、長期的な視点にたった維持管理を推進していく。

水泳授業のこれからは

質問 水泳授業の昨今の課題は。

答弁（教育部長）プールの老朽化による維持管理コストの増加、天候の影響により計画通りに授業を実施できないことなどがある。

さらに水泳授業は、水質管理や児童生徒の安全確保のため、他の教科に比べ教職員に時間的、精神的負担がかかっている。

質問 そのためにも外部委託により施設管理・運営をしているひたち野うしく小学校屋内プールへの水泳授業の集約化が必要では。

答弁 集約化は課題を解決する有効方策の一つと認識している。引き続き児童生徒の安全を最優先に考え、持続可能な水泳授業の実施に向け検討を進める。



一般開放や水泳教室も行われている
ひたち野うしく小学校の屋内プール

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

※シビックプライドを醸成するには

池辺 己実夫 議員



（答弁）牛久市の将来を担う児童・生徒を中心とした事業を企画・立案していく

令和7年度決算に見る市長公約の進捗状況

質問 **市長が公約に掲げた6分野のうち、令和7年度に予算化し、実施した取り組みと、その効果は。**

答弁（市長）①「子ども・子育て」は、中学校の給食費無償化と未就学児の医療費無償化を実現し、子育て世帯の経済的負担を軽減。②「医療・福祉」は、乳児1カ月健診と多胎妊婦の健康診査への助成のほか、障がい者・障がい児のための基幹相談支援センターの新設で市の相談体制の底上げを図った。③「まちづくり」は、通学路等の歩道整備のほか、冠水被害対策として南1丁目の雨水管改修工事を実施。④「地域振興」は、牛久シャトーを「公園のように牛久市民が憩える拠点」と位置付けたほか、台湾桃園市とジョージア国テラヴィ市との国際交流を進めている。⑤「教育改革」は、英語を母国語とし、経験年数2年以上のALTの配置をすることで、CEFR A1レベル以上の生徒の割合が増加。⑥「行財政改革」は、市税等の口座振替のWeb受付サービスの導入や、新たな財源確保を目的として、ふるさと納税やネーミングライツなどの事業を推進し、いずれも財源確保を実現。

質問 **シビックプライドの醸成のために市長が組織したプロジェクトチームの構成と課題の進捗状況は。**

答弁 若手職員を各部から1名選任し、庁内横断型の市長直轄プロジェクトを設置し、市制施行40周年記念式典などの事業を企画・立案してきたことがシビックプライドの醸成につながると考えている。今後も「選ばれるまち」、「住み続けたいまち」の維持のために各種施策を実施していく。



※まちへの愛着や誇りを持ち、まちの一員としてより良くしていきたいという気持ちのこと。

個人事業主、地元企業はどの様な存在か

髙嶋 基樹 議員



（答弁）より良い牛久市を共に創っていく大切な存在

質問 **個人事業主、地元企業はどのような存在か。**

答弁（環境経済部次長）行政だけで活力あるまちを作る事はできない。地域を知り、地域への想いを持って事業を営んでいる個人事業主や地元企業は、地域経済を支える担い手であると同時に「より良い牛久市を共に創っていく大切な存在」である。

質問 **新規創業者の増加対策は有効的な施策であり課題でもある。支援策として石川県かほく市等の成功事例を市はどう捉えるか。**

答弁（市長）新たに事業を始めようとする方を後押しし、創業の環境を整えることは、地域経済の活性化、地域に新たな雇用や賑わいを生み出すという観点からも大変重要。一方で、創業時の負担軽減は一定の効果が期待できるものの、補助期間終了後の事業継続や、その地域への定着に繋げていくことが課題。

創業自体をゴールとせず、地域に根付き事業を継続し、将来的には地域経済を支える事業者として成長いただくことがより重要と考える。

質問 **空き家活用事業との連携が有効的と考えるがどうか。**

答弁（建設部長）地域課題である空き家問題の解決と地域経済の活性化に効果があると考える一方、都市計画法の制約を受けるなど、事業の目的や内容により活用が難しい場合もある。

いずれにせよ、起業を目指す方へ空き家を活用した支援を行うことは有効。今後、ニーズ・地域特性や実状への適合性、他自治体における先行事例などについて調査・研究する。



（掲載以外の質問事項）
○ふるさと納税の現況
○旧飯島家住宅の進捗
○指定管理者制度の導入

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。



水梨 伸晃 議員

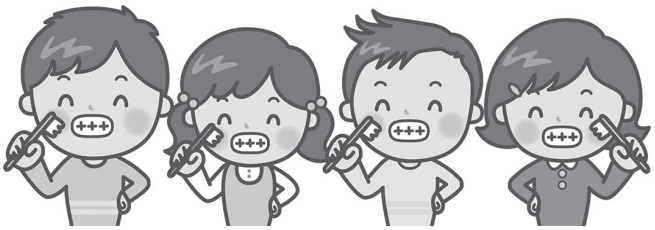
フッ化物洗口などの予防歯科の取り組みは

（答弁）実施体制の整備を進めていく

質問 就学前施設や小学校において、茨城県内44市町村の中で本市を含む4市のみフッ化物洗口による、むし歯予防を実施していない。牛久市の子どもたちも、他市町村と同じように健康な歯を守ってほしい。

しかし、学校現場で新たな取り組みを行う場合には、教職員の負担も考えなければ、継続的な取り組みにはならない。この両方を考えながら、フッ化物洗口などの予防事業を行うか伺う。

答弁（教育部長）令和9年度からの導入を検討する。



中学生のクールビズ許可時期について

質問 牛久市内の中学校間での違いが見受けられる。子どもたちが不公平感を抱くことがないよう、生徒の健康と安全を優先的に考え、気候に応じた柔軟な運用ができるよう、ガイドラインを示す考えはないか伺う。

答弁（教育部長）校長会でも情報共有し各学校と連携・協議する。

児童クラブの受け入れ態勢について

質問 夏休みをはじめとする学校の長期休業期間において、児童クラブの入級待機をしている児童の発生状況を伺う。

答弁 令和8年度は中根小で17名、牛久二小で10名の児童を入級不許可としている。

質問 既存施設のスペース拡充を通した利用定員の拡大と、支援員の確保や処遇改善を通じた、待機児童ゼロの継続、実現に向けた今後の見解を伺う。

答弁 小学生の児童数や空き教室の見込みを推計し、受け入れ体制の環境整備について検討していく。



黒木 のぶ子 議員

児童クラブに入れない理由は

（答弁）令和８年度は定員を超える申請があった

質問 フルタイム就労なので児童クラブに入れたいが、入れないとの市民からの声が寄せられている。市内の児童クラブの現状は。

答弁（教育委員会次長）入級不許可としたのは、ひとり親家庭や障がい等により介護を必要とする世帯員がいる世帯を除いた高学年児童。定員を超えた申請があったため入級不許可が出た。現状は空き教室の確保が難しい状況である。今後は児童数や空き教室の見込みを推計し受け入れ体制の確保方策を検討する。

質問 子どもを産み育てながら生涯に渡り働き続けるために、突発的な病気や感染症に罹患した時に預け先がない。市として病児病後児の保育環境の充実を図る必要があると考えるが。

答弁（保健福祉部次長）病児病後児保育は一定のニーズはあるが経営や運営の難しさと、利用者側の手続きの負担と双方に課題があり、非常に高いハードルであるが、国の補助制度も改訂されつつある。



投票率を上げるために高齢者の移動距離の改善

質問 投票率が高いといわれる高齢者は足腰が痛い人が多いことから、なるべく投票所を近くに、又期日前投票所を増設し、高齢者に配慮が必要と考えるが。

答弁（総務部長）投票所への移動距離の改善は投票区の区割り再編が一つの選択肢であると認識しているが、投票所周辺の人口分布や交通状況等も考え、総合的な観点で決定をしている。

市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

アンダーパスの冠水対策は

伊藤 裕一 議員



（答弁）排水設備や通行止め措置

質問 千葉豪雨を受け、ひたち野うしくに2か所ある市内アンダーパスの設備、封鎖措置等対策状況を伺う。

答弁（建設部長）学園西大通りは自然流下方式、ひたち野大通りはポンプ設備を設置。ひたち野大通りのポンプ施設内には水位の異常を感知するセンサーが備わっている。8月に緊急点検を実施、大きな問題は無かった。道路冠水時には職員の巡回等により、必要に応じて通行止め等の措置をとる。

内水氾濫

質問 下水道の処理能力が追い付かず、雨水があふれ出す内水氾濫は高台であっても、わずかな窪地で発生の可能性があるが、対応は。

答弁（市民部長）雨水排水整備は5年に1度の一時間当たり50．7ミリメートルを計画値としている。発生した場合は避難所を開設し市職員が参集し災害対応を行う。

市役所等天井落下防止

質問 8月23日未明の地震で市役所執務室天井が落下。庁舎のあり方が検討中であるため、ワイヤーを用いるなど簡易的な天井落下防止策を検討しては。

答弁（総務部長）脱落した箇所は建物の構造体ではなく、揺れの影響を受けやすい箇所であったと推察される。庁舎全体の落下防止策でなく、落下箇所天井吊りボルトの揺れ止め金具を設置。



地震により落下した市役所2階の執務室の天井

太陽光発電設備の適正な設置及び管理

杉森 弘之 議員



（答弁）地域住民等の生活との調和図る

太陽光発電の届出状況

質問 太陽光発電は再生可能エネルギーとして重要な役割を果たすものだが、一部の事業者による無秩序な開発・設置は、牛久市の豊かな自然環境や景観の破壊、近隣住民の生命と安全を脅かす大きな懸念材料ともなっている。本市における同施設の届出の推移を聞く。

答弁（建設部次長）令和3年度は3件、5年度は5件、7年度は15件、本年6月の条例改正後は、相談件数も減り、届け出は9月15日までに2件である。

太陽光発電施設の届出推移
対象：発電出力50kw以上、または事業区域面積1,000㎡以上
（2026年に10kw以上に条例改正）

	2021年度	2023年度	2025年度
届出件数	3件	5件	15件
総面積	20,157㎡	61,636㎡	40,157㎡
総発電出力	1,520kw	4,760kw	3,014kw

撤去費用の確保が必要

質問 太陽光発電施設は、規模が大きくなればなるほど、修理費用や、廃棄費用が大きくなる。災害時の修理費や将来の廃棄費は、法定の積立金だけでは不足するリスクが高いといわれる。また「撤去費用を積み立てる」だけではなく、倒産した場合等、「市が確実に撤去費用を確保できる仕組み」が必要では。

答弁（建設部次長）施設や周辺へのリスクを踏まえた適切な補償内容を確保するよう、助言・指導する。

会計年度職員の処遇改善

質問 民間では5年間での無期転換ルールがあるが、会計年度任用職員にはない。わずか1日15分の労働時間の差を意図的に付けて、10年後に年収格差1．75倍という状況、40年間勤続で生涯賃金の格差1億円という報道もある。「同一労働・同一賃金」の原則で処遇を改善すべきでは。

答弁（総務部次長）会計年度任用職員の昇給上限は1級25号と定めており、令和8年4月1日時点で、1級25号の昇給上限に達している事務職員は計74名である。

市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。



須藤 京子 議員

「選ばれ続けるまち」実現のためには

（答弁）重点施策を着実に展開し本市の価値や魅力を磨く

質問 **令和7年度決算のプライマリーバランスは。**

答弁（経営企画部長）大きくプラスとなった。

質問 **市税増加の背景は。**

答弁 令和6年度実施の定額減税の終了の他、個人市民税は実質的に増収となり、この傾向は今後も一定期間続くと捉えている。

質問 **財政分析指標等から見た財政状況は。**

答弁 概ね健全な財政状況にある。しかし、今後は義務的経費の増加、公共施設やインフラの改修費用の増加等が懸念され、事業手法の見直しやコストの削減・平準化等、歳出の適正化を図ることが重要である。

質問 **第三セクターの経営改善の取り組みは。**

答弁（環境経済部次長）うしくグリーンファーム（株）は、最終的には当期純利益がマイナスとなり、農業部門は撤退となった。

答弁（環境経済部長）牛久シャトー（株）は、売上高は増となり、純利益は赤字ではあるものの改善している。ワインのブランディングを進め、ブランド力や収益力の向上につなげる。

答弁（環境経済部次長）牛久都市開発（株）は、エスカード牛久ビル3階の市所有床に事業者が進出し、空き床が解消したことにより増収となった。貸付金も計画通り履行されている。

質問 **決算状況を踏まえ、牛久市が「選ばれ続けるまち」を実現するためには。**

答弁（市長）第4次総合計画の第2期基本計画に基づき、7つの重点プロジェクトに位置付けた各種施策を着実に展開し、本市が持つ潜在的な価値や地域資源を活かし、新たな魅力を磨き上げていく。また、メディア等を通じたPRも重要な要素と捉えている。



エスカード牛久ビル3階



大森 和夫 議員

奥野・小坂地区への地域共生コンビニ開店支援について

（答弁）地域の実情を踏まえ調査研究してゆく。

質問 **地区社協ボランティア送迎が8つの内3地区実施の拡大・拡充について**

答弁（市長）牛久市社協と連携し取り組み事例や課題を共有し、未実施地区のニーズを把握し、ボランティア移送の支援に努める。

災害対策について

質問 **降雨量の災害・排水・下水道想定について**

答弁（建設部長）5年に1度の1時間50．7ミリを計画降雨量とし雨水管路や調整池などを整備し排水能力向上に努力。優先度を見極め計画的に雨水排水整備を推進していく。

質問 **太陽光発電・雨水タンク、雨水・井戸水活用について**

答弁（市民部次長）雨水利用施設はない。井戸は複数施設である。35万リットルの飲料水を確保している。

質問 **非常用発電施設の拡大・拡充について**

答弁 一定装備。バッテリー備蓄などを検討する。

質問 **トイレ・かまど・井戸等設置の防災公園の整備について**

答弁 新防災拠点の整備に代えて現状施設の防災機能の確保向上に努める。

データセンターについて

質問 **重油発電など危険物を貯蔵するデータセンターの無規制問題と申請相談状況・規制許認可の考えについて**

答弁（建設部次長）具体的申請なし。関係法令で判断する。計画段階から十分な配慮と対策について、助言指導を行う。先進事例や近隣のガイドラインの制定状況を調査する。



公共交通再編による課題と今後

遠藤 憲子 議員



（答弁）かっぱ号や市内バス路線を見直し実施する

質問 市内バス路線で減便となったエリアの対応は。

答弁（経営企画部長）ルート廃止、新設、変更などがあり、住民説明会を４回実施。参加者からはバス路線とＪＲとの継続など意見が出された。「牛久市公共交通マップ」の更新を進める。

質問 運転免許証返納者に対して対策は。

答弁 かっぱ号は１００円で利用でき、他の自治体と比べても安価である。

災害時の避難情報発信は

質問 防災気象情報が5月より新しくなり、警戒レベルを使用しての発信は。

答弁（市民部長）避難行動に直結する判断の目安が明確になった。台風などの際、気象情報をもとに「警戒レベル３高齢者等避難」「警戒レベル４避難指示」など発令する。

公共施設の利活用の今後は

質問 旧第二幼稚園、牛久運動公園プール、旧奥野小学校など市管理の施設で使用や利用を廃止後、数年が経過している。本来は廃止を決定する前、その後の活用方針など計画すべきではないか。

答弁（市長）公共施設の跡地利用は所管課から全庁に利用有無を確認し、希望がない場合には所管課を中心に跡地利用の検討を行ってきた。おくの義務教育学校北校舎の跡地利用は政策企画課で利活用方針をまとめ、推進本部や幹事会での協議、地域の意見も参考に進めていく。これまでの案件は廃止前の所管課が進めていたが、実効性をもった組織体制により、存続か、用途を変更し活用か、解体か、検討していく。



かつて賑わっていた
運動公園のプール

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

傍聴がもっと身近に！ あなたのスタイルで議会をのぞいてみませんか？

☑ 議場で見る。

詳細はホームページ

本会議および委員会は傍聴することができます。傍聴希望の方は本庁舎５階の傍聴席へお越しください。令和８年６月に牛久市議会の傍聴に関する規則を改正しました。時代の経過に合わせ、現在の社会情勢に対応した規則となりました。

主な改正の内容

- 児童及び乳幼児を連れての傍聴について議長の許可が不要になりました。
- 服装について、帽子及び上着の着用、つえ及び傘等の携帯について制限がなくなりました。

☑ YouTube で見る。

YouTube

牛久市議会公式チャンネルで本会議を生配信しています。自宅でも外出先でも、スマホやパソコンから議会を見ることができます。過去の議会の動画も見ることができます。

※定例会の予定はホームページに掲載します。定例会は年４回（３月・６月・９月・12 月）開催しています。
開会の 10 日程前に日程をホームページに掲載しています。